

第1回

(1) パパと私はここにいる。

✓ 第3回で解説したように英語でいう be 動詞に相当する単語はない。

(2) 私は飲む。

(3) 彼女のおばさんはここにいる。

✓ 「彼女のおばさん」が主語である。

(4) Yes, 猫はここにいる。

✓ Yes をあえて英語で表記したが、日本語的にも問題ないのでこのまま掲載する。

(5) 雪男はここにいる？

✓ 単語 сні は雪男を意味する。

(6) 私は5番目だ。

✓ 単語 п'ятий は5番目を意味する。

第2回

(1) Це яйце?

(2) Я їм банан.

(3) Де ти?

(4) Кіт і кішка.

(5) Я не фея.

第3回

(1) 私は卵を食べない。

(2) 君はハチミツを食べる？

(3) ホナミはアップルパイを食べる。

✓ 「ホナミ」は固有名詞かつ主格の位置なので活用を無視できる。

(4) Ми не їмо м'ясо.

(5) Як ти їси масло?

✓ 英語と同様にウクライナ語でも **Як** や **Що** などを使用した疑問文はこれを語頭におく。

(6) Що ми їмо?

□応用問題

今回は1問だけ。

Чи там є кохання?